

ありたい姿

- 誰もが安心・安全・笑顔で幸せに暮らせる街
- すごいんだぜ四中校区 ~お互いを尊重して 誰でも安心して暮らせる街~



★ 2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所でのあいさつ
	地域の拠点づくり	市役所の施設（体育館、会議室）を近隣に開放
	交流の場	地域内で各種イベントを開催★ （地域の運動会や文化祭、地域が一体となる活動、浅川河川敷地で開催） （多種の交流イベント、昭和歌謡、イラスト教室、子ども預かりなど） （中学生も参加、高校生・大学生を招待 ⇒アクティブラーニングに） （若い人の意見を聴く、もっと参加してもらえようにする） コロナ禍でもできることを増やす
4	安全・安心	ピーポくんの家（子ども緊急避難所）の拡充
6	自然・環境	クリーン活動の実施（もっとPRする、回数を増やす、住民総出で実施）
		地域内不用品交換会の実施

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	お見合いパーティの開催
3	スポーツ・文化・生涯学習	チェロコンサートの再開
	学校・教育	デジタル教育の実施

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	小学生・中学生とPTAで地域のあり方についてワークショップをする
	交流の場	世代で分けないイベントや学び（理想的な包括のあり方）の実施
2	高齢者	包括支援センター等の活動の周知徹底
3	学校・教育	二小の跡地利用について検討する
		講師を招き学習・勉強についての意識を変える
		中学校で「10年後の八王子を考える」をテーマにした授業をする

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	情報通信技術の有効利用（利用するためのサポートも必要）
2	高齢者	移動支援（足の悪い高齢者など）
3	学校・教育	地域と学校が協働で活動することがスタンダードになる
		二小跡地の活用について地域が主体的に活用策を検討（地域コミュニティの拠点、防災のための避難所など） （保育、小・中・高校の統合スペース）
6	自然・環境	緑の育成・保全

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域のあり方について幅広い年代を対象にアンケート調査をする
2	見守り・支え合い	高齢者の見守り制度、助け合い制度の実施（遠隔支援ネットワーク等）
3	学校・教育	児童が主体性をもち、お互いを認め合って自尊心を育むような教育をする

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	空き家の有効活用（コミュニティスペースとして、町会の会館がないエリアへ提供等）
		市民センター、広場の整備
4	行政運営	現場重視の市民と行政マンの協働
	交通インフラ	先進的な交通手段の開発
	都市計画・居住環境	人口減少に伴う土地（空き地）の有効利用 住居・行政・医療施設の集約化

校区の特徴

- 地域が主体的に課題解決に取り組む意向に加え、行政との協働で取り組む意向もある。
- 地域コミュニティの強化や、多様な立場の人たちが安心して暮らせることを重視する声があった。
- 既存施設・跡地の活用、学校との活動や教育に期待する声があった。

ありたい姿

- 住んで良かったまち 横川
- 教え合い、育て合う、人とのつながりが深まる横川



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	住民主体の挨拶運動を行う
		子どもをターゲットにした町会活動をして若い人に入ってもらう（新入生にお祝いをあげるなど）
	交流の場	地域の世代を超えて交流する学校行事や町会活動を行う
		お祭り等をとおして、世代をこえた交流を行う
2	男女共同	女性が参加しやすい日時で会議や集会などを行う
		女性活躍の原点の町を活かす
3	学校・教育	横川小音頭を復活させる
		小学校で地域の人が地域のことを話す場を作る
4	防災	防犯運動を機会に世代間交流を図る
	景観・まちなみ	花いっぱい運動を行う（幼～小学校）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会員を増やす努力を行う
		町会よりも小さな単位の集まり、つながりを容認する
	交流の場	銭湯を作って交流を図る
3	スポーツ・文化・生涯学習	情報（発信、共有、デジタル化）
		横川うめ子さんのキャラクターを作成

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	学校の空き教室を活用し、コミュニティを学ぶ場（サロン）を作る（シニアがデジタルを学ぶ）
2	高齢者	高齢者のデジタル化を促進する
3	スポーツ・文化・生涯学習	プレートを利用して歴史、建物、木、花等々について、町の人に知らせる、歴史を知ってもらう
		特技を持つ人によるイベントを行う
	学校・教育	大人向けだけでなく、子供向けの講座を行う（人とのつながり、付き合い方）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	横川会館を民間運営にする
		学校を交流の拠点にする、開放する
3	学校・教育	学校運営協議会活性化

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域の良さを認識してもらうために、広報誌などで歴史について知らせる（情報提供する）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会活動にボランティアポイントを付与する
		教育として見守り、挨拶運動を行う（地域と一緒に）
	地域の拠点づくり	空き家を活用したサロン作り
		人が集まる施設を用意する（市民センターや商業施設など）
大学・学生との連携	協力して行うイベント活動を授業の単位として認める	
	情報（発信、共有、デジタル化）	自治会、町会へタブレットを支給する
4	都市計画・居住環境	工学部の学生による空き家のリフォーム（コンペティションをするなど）
6	自然・環境	浅川沿いを遊歩道にする

校区の特徴

- 地域内での交流を活性化させることを重視しており、その中でも「地域主体」&「すぐにできる」とへの取組に対する意見が多くあった。
- 交流する場として、既存施設の活用に対して期待する声が多くあった。
- 歴史や文化を重んじており、継承や活用についての意見があった。

ありたい姿

- ささやかな心配りが心地よい四谷
- 世代をこえて地域一体となった1つの街 四谷地区



★ 2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	あいさつ運動の実施
		健康づくり・体力づくりのためのラジオ体操の実施
		町会による「ささやかな心配り」の実施（町会から子育て世帯へのお祝い金や、引っ越してきた家への挨拶など町会がうまくいっている地域の雰囲気が良い）
	家庭・学校・地域が行事に参加（伝統行事の継承）★	
交流の場	各小・中学校と町会との交流（大掃除や七夕など）	
	学校・PTA（父親も含む）・市民・企業の一体となったイベントの企画（キャンプ場等を活用し町会統合のお祭りやイベント）★	
3	子ども・子育て	子ども会等での街歩き（豊かな自然を感じる活動）
	スポーツ・文化・生涯学習	町の歴史や伝統を地域から発信（歴史を大事にした町づくり）
4	安全・安心	近隣住民同士の声かけ

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	町会による広報配布（町会内のコミュニケーションのきっかけづくり）
		LINEやメールを活用した町会情報共有
3	子ども・子育て	子ども会で一日保育などのサポート（保育サポートがあれば交流のイベントなどに参加しやすい）
4	交通インフラ	地域内での乗り合いの仕組みの構築（ミニ「はちバス」の創設）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域人材バンクの創設・公的支援（昔あそびの継承・様々なキャリア教育機会の拡充）
	意見交換の場	学校のコーディネーターと地域の方の交流・意見交換の場の設置
3	子ども・子育て	ファミリーサポートの周知と活用
	スポーツ・文化・生涯学習	放課後子ども教室と地域ボランティアとの協働（シニアなど）
	学校・教育	小・中学生による八王子の歴史新聞の作成（小・中学生の地域参画意識を高める・歴史の情報発信）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地元企業・町会と学校をつなぐ（子どもの企業見学、学校への支援）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
4	都市計画・居住環境	所有地の市有地化（防災公園や避難所、イベント会場としての活用）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	子育て世帯の多い町会への補助金を増額
2	高齢者	ボランティアによる車両貸出（NPO法人八王子共生社会推進会議「もやい」）の活動拡大
3	子ども・子育て	雨の日でも子どもが室内で遊べる場所の整備（例）町田市“子どもセンターばお”
4	交通インフラ	バスの代用として老人ホーム、介護施設等のバスを利用出来るようにする
		自転車の拡大
公園・緑地	歩道の整備（段差をなくす、広げる）	
	浅川周辺の公園やスポーツ・キャンプ施設の整備	
6	自然・環境	防災・備蓄の機能を備え、多世代の交流の場となる公園の設置★
		川沿いの遊歩道の整備

校区の特徴

- 住民同士での横のつながりはあるが、縦のつながり（多世代のつながり）が希薄であることを課題と考える参加者が多かった。
- 参加しやすい町会・自治会の体制や負担の少ない行事の開催など、日常的な心配りを重視した地域コミュニティづくりが必要であるという意見があった。
- 子育てや次世代への教育に対する投資意識があり、多世代や地域ぐるみで支援したいという意見があった。
- 交通インフラの整備と公園設置を期待する声があった。